

# ふるさと大館へ

大館ふるさと会からのたより ⑤

副会長 阿部 鐵男さん



## これはなに?

### 『野鳥観察小屋』

横岩の米代川右岸、下水道終末処理場から100メートルほど下流の堤防沿いに、この小屋があります。建設省能代工事事務所が「多自然型川づくり事業」の一環として今年5月に設置したものです。地上2メートルの位置に設置されたこの小屋は、広さ16平方M。豪雨災害時の洪水観測所としての役割も担っています。

米代川の長木川合流点を中心とした上下約4キロMの地域は、ハクチョウやカモ、サギ、シギなどの渡りのコースの中にあり、渡り鳥が休息する中継地点として重要な位置を占めています。

野鳥観察小屋周辺の河川沿いには散策路も整備されていますので、一度足を運んでみてはいかがでしょうか？



大館。ふるさとを離れて三十年が経過。自己紹介は「出身は大館です」。「え!?」。「秋田県の大館市です」。「ああ秋田か。角館?」。「位置の説明。弘前の下、十和田湖のそば。納得するも、「マタギの」。熊が出るんだって?」。「今度は大館のイメージの説明。」「忠犬ハチ公の出身地、キリタンボ、トンプリ、シヨツトル鍋、曲げわっぱ」、最後には「私が生ま

れ育った場所だよ」と終了します。「大館ふるさと会」発足に際して、大館商業高校出身者としてかわらせていただくことになった私ですが、当初は「大館に郷愁を感じるにはまだ早いな」と消極的でした。しかし、小坂鉄道旅客部門の廃止、はたまた雪沢中学校の廃校と、思い出が消えていく中で、大館の応援団としての大館ふるさと会に積極的に参画していこうと考えているところです。

今年の大館ふるさと会総会(11月12日)では、私が担当する観光物産部会が「秋田の大館朝市」を計画しています。江東区の地元消費者へ大館をPRするほか、総会参加者へふるさとの味をお届けしようというものです。現在「ホテル・イースト21東京」や大館市観光物産課と、出店企業の募集等詳細について検討中です。

## 大館の方言講座

### 動作・状態に関する言葉

- ◇ガチャメギ…どろんこ
- ◇カッポリ・カッパリ…誤って水の中へ足を落とすこと。
- ◇キドコネ…着衣のまま寝込んでしまうこと。
- ◇ゲツパ…最下位
- ◇ゴサラシ…恥さらし
- ◇コマル…頭を下げて礼をすること。
- ◇シバネ…尻はね。衣服のすそに付着する泥水。
- ◇チャンゴ…対等。同じ程度。
- ◇ネブカケ…居眠り
- ◇フジャマ…不様な様子。
- ◇ヨッキリ…酔っ払い

『大館市史』から

中央図書館の休館日

8月のテーマ関連図書コーナー 『戦争と平和』  
 毎月第1金曜日 14時30分  
 8月20日、24日  
 9月1日、17日(虫干しのため)

### 児童書

◇アドリア海の奇跡(ジョアン・マヌエル・ジズベルト) ◇幽霊の恋人たち(アン・ローレンス) ◇また来てマック(及川和男) ◇わたしの猫時間(しかたしん) ◇潮風のおくりもの(パトリシア・マクラクラン) ◇はんぶんちようだい(山下明生) ◇森はたのしいことだらけ(田島征三) ◇絵でみる地球大地図(スザンナ・V・ローズ) ほか



### 一般書

◇有罪答弁(スコット・トゥロー) ◇単独捜査(ピーター・ラヴゼイ) ◇蛇の巣(リンダ・デイヴィス) ◇自然のかくし絵(岩波洋造) ◇樹木と生きる(宇江敏勝) ◇スイス・アルプス花の旅(山田常雄ほか) ◇家紋逸話事典(丹羽基二) ◇秋田の博物誌(本郷敏夫) ◇歴史を見なおす東北からの視点(中名生正昭) ほか

## 『病者は語れず』

永井 明著  
 文芸春秋



## 私の本棚

中央図書館新着図書